

議会運営委員会 行政視察報告

4月19日から20日にかけて、委員6名、正副議長、事務局随行者2名の合計10名で、愛知県半田市・長野県駒ヶ根市を視察してまいりました。

■愛知県半田市

【議員間討議について】

半田市議会では、委員会における重要な議案審査の中で、議員間討議（自由討議）を行っています。

これまで、議案審議のほか、市政課題に対する調査研究を協議する議員総会や、政策調査研究プロジェクトの場で実施したとのことでありました。

特に、予算審議においては、議員間討議の結果、修正案を提出し、可決した例もあるとのことでした。

また、議会で事業評価を行い、当局へ提案する際には、議員間協議を行い、原則として議会の全会一致の意見として提案を行うこととしているとのことでした。

なお、全会一致に至らなかった場合においても、その他意見があったことを付したうえで、全議員が了解のもと提案する場合もあるとのことでした。

加賀市議会においても、このような制度を参考にしながら、議員間討議を実施することの必要性を感じました。



▶ 半田市議会

【コロナ禍での議会活性化の取組について】

半田市議会では、議場内での密を避けるため、一般質問においては、議会運営に支障が出ないよう配慮したうえで、議員の議場への入場人数を2/3程度に抑制しているとのことでした。

また、毎年行っている議会報告会は、コロナ禍においては例年どおりの開催が困難な状況になっていることから、開催の時期・場所・

内容を試行錯誤しながら行っているとのことでした。

そのなかで、会場の選定については、従来の各地区においておこなっていたものを、市内中心部にある施設一か所に限定しておこなうこととしたとのことでした。

しかしながら、毎回の参加者に偏りがあり、十分な参加者数が確保できない等、課題は多いとのことでありました。

このことについては、加賀市議会でも同様であり、今年度の議会報告会を開催する上で参考とし、より充実した内容の議会報告会となるよう検討していく必要があると感じました。

【その他議会改革の取組について】

半田市議会では、議員活動と家庭生活の両立支援に取組んでいます。

議員が活動しやすい環境づくりとして、授乳が必要な子がいる議員には、議会フロアへの子どもを連れての登庁を認めることなどをルール化しています。

女性が議員に立候補しやすい環境づくりに取組んでいるとのことでした。

また、若い世代の議会への関心度向上に対する取組もおこなっていました。市内5つの高校に出向

き、議会の広報誌である「議会だより」に、いかにして興味を持ってくれるかなどについて意見交換を行うなど、調査・研究をおこなっているとのことでした。

（半田市議会には、議会活性化特別委員会と合同で視察を行いました。）

■長野県駒ヶ根市

【市議会におけるオンライン会議の開催について】

駒ヶ根市議会では、新型コロナウイルスウィルス感染症等のまん延時や、大規模な地震、風水害時に、議員が参集できない場合においても、議会機能を維持することが必要であるとの観点から、いち早くオンライン会議導入の取組をおこなっています。

今後は、駒ヶ根市議会から提供された資料等を参考にしながら、加賀市議会においても、オンライン会議導入の取組を進めていきたいと思えます。

■視察を終えて

円滑な議会運営及び、更なる議会改革を進めるうえで、今回の視察で学んだことを、今後の議会運営に活かしていきたいと思えます。